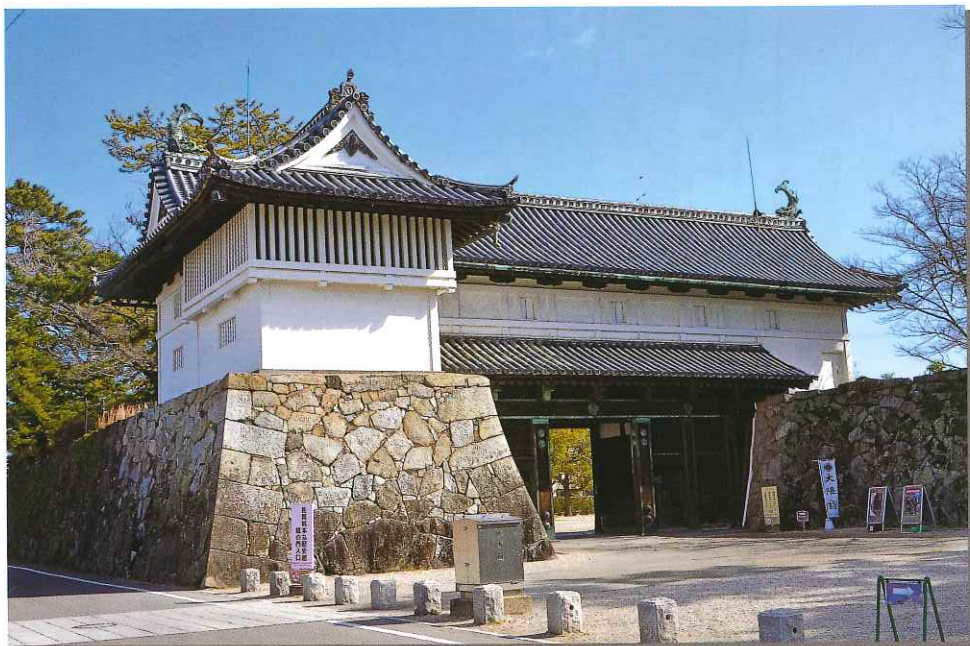
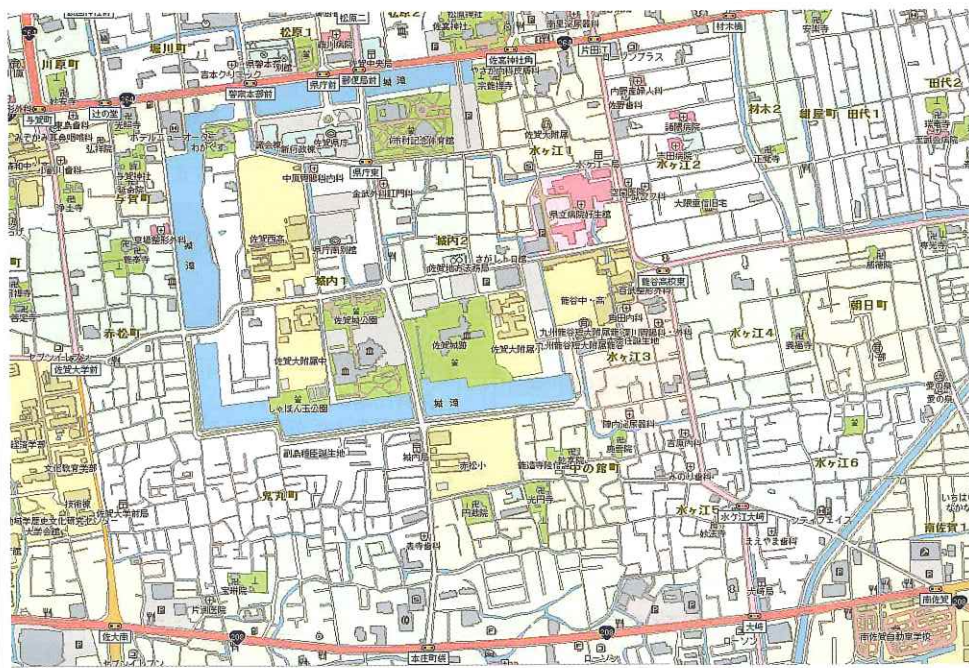


ガイドマップ

佐賀城周辺まち歩き



赤松校区



佐賀城周辺まち歩き ガイドマップ

令和元年 6月 2版発行

製作・発行 佐賀城周辺地域コミュニティ再生委員会

佐賀市鬼丸町 8-13 (携帯 090-3070-4289 永原)



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|---|---------------|---|---------------|---|----------------|---|------------------|---|--------|---|------------------|---|-------------|---|---------------|---|----------|
| ① 鍋島直正銅像 | → | ② 護岸の赤石(西御門跡) | → | ③ 吉島家緞通ミュージアム | → | ④ 龍泰禅寺(大隈重信の墓) | → | ⑤ 与賀神社(楼門・鳥居・石橋) | → | ⑥ 北御門跡 | → | ⑦ 本願寺会館(武雄鍋島家)庭園 | → | ⑧ 楠の木おぼさんの碑 | → | ⑨ 若楠会館(諫早家)庭園 | → | ⑩ 県庁(屋上) |
|----------|---|---------------|---|---------------|---|----------------|---|------------------|---|--------|---|------------------|---|-------------|---|---------------|---|----------|

① 鍋島直正銅像

高さ 8.5m の銅像。佐賀藩 10 代藩主鍋島直正の銅像。官民一体となつての銅像設置活動が実を結んだ。財政の立て直し弘道館教育での人材育成、科学技術革新による軍勢力増強など佐賀藩の事業を積極的に推進した。



② 島義勇の銅像・護岸の赤石 (西の御門跡)

高さ 3.5m の立像。幕末維新期に北海道開拓に貢献した島義勇の銅像。10 代藩主鍋島直正命で蝦夷地調査に旅立つ姿で建立。



この堀の護岸は板木や棒杭だった。その後、傷みが出たため桐木と赤石で再構築された。



③ 吉島家緞通ミュージアム

元禄時代に製作が始まったとされる鍋島緞通(だんつう)は、日本で最も歴史の古い絨毯である。ここは吉島家が開設した展示施設である。



④ 龍泰禅寺

龍造寺隆信が永禄 6 年(1563)、少弐氏の居館跡に、わが家の菩提寺とするために建立した。大隈重信の墓もここにある。



⑤ 与賀神社(楼門・鳥居・石橋・佐賀恵比須神社)

欽明天皇二十五年(564)に勧願造立された。鍋島氏は佐賀城の鎮守、各代の産土神社として深く尊崇され、数々の寄進をなされている。



⑥ 北御門跡

他の城であれば大手門と称すべき正門。参勤交代の出発・帰着は常にごこから出入りしていた。



⑦ 本願寺会館(武雄鍋島家)庭園

佐賀藩の大名であった武雄鍋島家の屋敷の立派な地泉式の回遊庭園が残っている。



⑧ 楠の木おぼさんの碑

昭和の戦争の混乱期、この周辺の楠の木は樟腦の材料として切り倒されようとしていた。それを献身的に守った「楠の木おぼさん」故福田ヨシさんの記念碑。



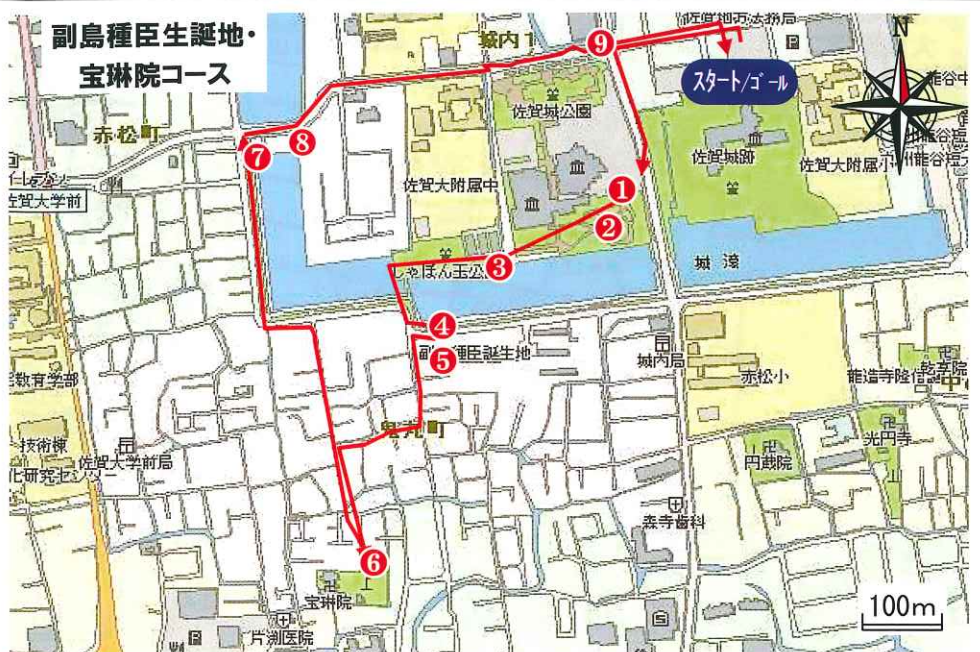
⑨ 若楠会館(諫早家)庭園

武雄鍋島家と同じく佐賀藩の大名だった諫早家の立派な地泉式の回遊庭園が残っている。



⑩ 県庁(屋上)

最上階の展望ホールは 360 度の眺望が開け、天気がいい日には有明海の向こうに雲仙普賢岳を望むこともできる県内有数のビュースポット。



- | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|---|-------------|---|---------|---|------------|---|-----------------|---|-------|---|----------------|---|------|---|------------------|
| ① 殉国十三烈士の碑 | → | ② 南堀石垣修築の記石 | → | ③ お濠のハス | → | ④ 佐賀城南堀の石垣 | → | ⑤ 副島種臣誕生地(枝吉家跡) | → | ⑥ 宝琳院 | → | ⑦ 西御門跡(島義勇の銅像) | → | ⑧ 赤石 | → | ⑨ 多布施川が北流(ホタルの里) |
|------------|---|-------------|---|---------|---|------------|---|-----------------|---|-------|---|----------------|---|------|---|------------------|

① 殉国十三烈士の碑

江藤新平ら 13 人は佐賀の役で戦に敗れ、ここで処刑された。後年、明治天皇のご聖断により賊徒の汚名は消された。これら先人の愛国の魂と情熱を追慕する碑である。



② 南堀石垣修築の記石

佐賀城南堀石垣護岸を移設復元し、その構造を紹介している。



③ お濠のハス

お濠のハスは平成 18 年に消滅したが、「ハス再生実行委員会」で外来種を捕獲。平成 22 年にハスがよみがえり拡大している。佐賀市の佐賀都市景観賞を受賞した。



④ 佐賀城南堀の石垣

堀には石垣の護岸の石垣があり、佐賀地方の軟弱地盤に対する工夫として基底部に沈没防止の丸太二本を敷き、その上に石垣を築き、さらに最低部の石がせり出すため、角杭で押えている。



⑤ 副島種臣誕生地(枝吉家跡)

明治政府で外務卿を務め、書家としても著名な副島種臣は、文政 11 年に藩校弘道館教授の枝吉南濠の次男としてこの地に生まれた。その後副島利忠の養子となる。



⑥ 宝琳院

和銅 4 年(711)に奈良時代の僧、行基が建立したと伝えられている。明応年中(1492~1501)に水ヶ江龍造寺の祖康家の四子、澄覚が開山した。



⑦ 島義勇の銅像

高さ 3.5m の立像。幕末維新期に北海道開拓に貢献した島義勇の銅像。10 代藩主鍋島直正命で蝦夷地調査に旅立つ姿で建立。



⑧ 護岸の赤石 (西の御門跡)

当初、この堀の護岸は板木や棒杭だった。その後、傷みが出たため桐木と赤石で再構築された。近年、市道整備に伴う発掘調査で当時の工事全体が浮き彫りとなった。



⑨ 多布施川が北流

多布施側は城内を流れる人工川で県庁から南下、栄城橋で北流してお堀の東に流れている。厩橋の横馬洗い場にホタルの里がある。

